

第 220 号

ほほえみの会

2021.1.1

<2021.1.1 謹賀新年>

明けましておめでとうございます。

コロナ禍での新年いかがお過ごしでしょうか。大晦日、全国の感染者は 4500 人を突破してしまいました。先の見えない年明けです。

皆さんにとって昨年はどんな年だったのでしょうか。コロナで仕事のやり方も、学校の授業も、遊びもスポーツも、すべてがこれまでとは違うやり方となりました。

しかし、世の中にどんな変化があろうと、自分の子供の体調のほう大切です。病院の環境も変わった中入院されていた皆さんは、より大変なご苦勞をされたと思います。コロナ感染も必ず終わりが来ます。コロナをめぐる環境も、自分の子供もきっとよくなると信じて前を向いて歩みましょう。

今年は、昔ながらの十干十二支でいうと辛丑（かのとうし）年です。

辛とは植物が枯れた状態、丑は種が芽吹く直前の状態をいうそうです。今年はこれまでのことに区切りをつけ、新たな出発のエネルギーに満ちた年になるということです。

年周りから言えば、去年と違う新しい年になる。子供たちもきっと元気になる。そう信じて頑張りましょう。子供たちの笑顔がたくさん見られることを願っています。

ほほえみの会の例会は当分できそうもありません。再開できるようになったらお知らせします。